会員のひろば

建設業から農業への転身　旬にこだわる野菜作りに挑む！！



かやま農園

◆代表：加山　聡
◆住所：板倉町岩田２００３－２
◆TEL：090-2480-8854
◆営業時間：9:00 ～ 17:00
◆定休日：不定休

館林市で「かやま農園」を営む加山聡氏は、異色の経歴を持つ農業者だ。2014 年に就農する以前は、10 年以上にわたり建設業界で施工管理を担当。大成建設や清水建設といった大手企業の現場にも携わり、厳しい労働環境の中で培った調整力と問題解決力を強みにしてきた。しかし、過酷な日々による体調悪化や、東日本大震災を契機に人生を見つめ直し、祖父の土地があった館林で農業の道へ進む決断を下した。

子供の頃から祖父の農場を身近に体験していたが、全く未経験の農業は苦労の連続だったというが元来の「負けず嫌い」の精神で乗り越えてきた。現在はナスを中心に栽培しながら、カーボロネロやフェンネルなどヨーロッパ野菜にも挑戦。料理人との出会いをきっかけに販路を広げ、需要に応じた生産にも取り組んでいる。加山氏が重視するのは「旬」の考え方だ。加温による無理な栽培は行わず、四季に沿った自然な育て方こそが品質と効率の両立につながると語る。今後は有機農業も視野に入れつつ、飲食店との連携強化や販路の安定化を図り、「必要なものを確実に届ける農業」の実現を目指している。







６０歳からの転身、これまでの経験を活かし社会貢献へ繋げる！！



一八商会

◆代表：池田　実
◆住所：館林市堀工町１６２４
◆TEL：080-9685-0907
◆営業時間：9:00 ～ 17:00
◆定休日：土・日曜日、祝日

館林市で新たなものづくりの可能性に挑む企業が誕生した。２０２６年３月に創業した「一八商会」は、鉄鋼業界で約４０年の経験を持つ池田氏が６０歳で立ち上げた事業である。コロナ禍や国際情勢の変化を背景に、「従来にとらわれない価値提供」を目指した挑戦だ。同社が展開するのは、アルカリ電解水を活用した金属加工ソリューション。水を電気分解して生成される強アルカリ性の液体は、ステンレスなどの難削材に対しても高い切削性と冷却性を発揮する。油分を含まないため、工場内の汚れや臭いを抑え、作業環境の改善にもつながる。近年は中東情勢の不安定化に伴う原油価格の高騰や、SDGs への関心の高まりを背景に、油性切削液の見直しが進んでいる。アルカリ電解水は廃液処理が不要で腐敗もせず、継ぎ足し使用が可能なことから、環境負荷の低減とコスト削減を両立できる点が大きな強みだ。工具寿命の向上や付帯設備の削減など、トータルコストでの優位性も評価されている。現在は日本フルードシステム社と提携し、正規代理店として展開。対面での信頼構築を重視し、試用を通じて効果を実感してもらう営業スタイルを採用している。環境対応と生産性向上を同時に実現する本技術は、地域製造業に新たな選択肢をもたらしそうだ。





